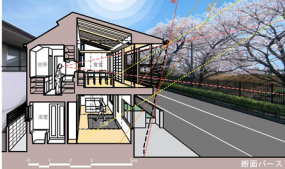


桜の開花は、「時」の移り変わりや景色を教えてくれる。日々の暮らしのさまざまな「時」に気づき、衣服が衣替えやお下がりを受け継いでいくように、季節やくらしの変化に応じて適切に更新できる家を考えて。
交通量の多い駅前通りの角に桜並木と大学キャンパスが広がる。3人家族の将来の変化に柔軟に対応できるように、南側は2階共に応用に応じて仕切れるワンルームとし、北側は水廻り・収納等のサポート空間とした。スクリーンや障子等の開閉により、時間に応じた光や熱、空気、騒音の取捨選択を行うこと、街に向かって開いていく。家の仕掛けと居住者の判断・行動により、地域の人自然に買まれる、小さな家を目指す。



断面パース

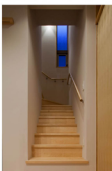


グラウンド

敷地周辺



内外の環境を調整する縁側に隣接し、必要に応じて空間を伸縮させられる2階リビング



仕切りの際扉や縁側によって、専業主婦も稼働できる



光や熱、騒音に最適な新築志向導かれた縁側するファサード

